

文部科学省平成17年度公募「魅力ある大学院教育」イニシアティブ2件採択

人社系「〈対話と深化〉の次世代女性リーダーの育成」

羽入 佐和子 副学長

今の時代はどの学問分野でも何らかの形で社会的要請を意識せざるを得ません。しかし、大学院教育ではまず専門性の「深化」が必須の要件になっています。

お茶の水女子大学大学院は、開設以来学際性を理念とし、既存の学問的枠を超えて問題を探究する高度な専門的能力の育成に努めてきました。今回採択された教育プログラムでは、とくに現在の国際的文化的状況を鑑みて、国と国、文化と文化の「対話」

を可能にする大学院教育を提案しました。具体的には、副専攻制度（「文化マネージメント研究」と「男女共同参画リソース研究」）、副指導体制の強化、国際的なジョイント教育、そして、博士論文完成までのプロセスの明確化を掲げています。この〈対話と深化〉によって社会に資する優れたリーダーを次世代に向けて育成することがこのプログラムの目標です。



http://www.ocha.ac.jp/information/20051026_2.html

理工農系「生命情報学を使いこなせる女性人材の育成」

松浦 悦子 理学部

この度の「生命情報学を使いこなせる女性人材の育成」のプログラムは、幅広い分野で生命情報学を使いこなせる能力をもつ専門家を養成することを目指しているものです。これまで本学にはなかった生命情報学の履修プログラムを博士後期課程に専攻を越えて導入し、既存の生命科学分野ばかりでなく、数学、物理学、化学、情報科学などの分野でも、それぞれの専門を深めな

がら、このプログラムで基礎から応用までの生命情報学を学ぶことができるようにと考えられました。研究現場でのインターンシップや海外での学会発表などの支援も行います。生命情報学は、産業界で最も人材が不足している分野の一つでもあります。本プログラムを履修することによって、将来、さまざまな分野で活躍するチャンスが広がることを期待しています。

文部科学省平成17年度公募「大学・大学院における教員養成推進プログラム」採択「科学コミュニケーション能力を持つ教員養成」

千葉 和義 サイエンス&エデュケーションセンター

高齢化や温暖化など、現代の困難な問題は、科学技術の進歩によって解決できると期待されています。その一方で理科離れなど、科学に対する無関心や不信感が増大しています。この状況に対処するためには、科学情報を社会に伝え、人々と科学者間のコミュニケーションを実現できる人材、すなわち科学コミュニケーターが必要とされていま

す。そこで本学では、「教員養成推進プログラム」公募に対して「科学コミュニケーション能力を持つ教員養成」を提案し採択されました。本プログラムは、大学院博士前期課程に開設され、次の3つの力を養います。1) **深める力**：先端科学の面白さや重要性を感じ取り、その未来を想像

できる能力。2) **伝える力**：幅広い分野について、分りやすく感動的に解説できる能力。3) **つなげる力**：一般社会人や子どもたちと、科学者との双方向的コミュニケーションを実現できる能力。教育や広報関連に興味のある方は、ぜひ受講して下さい。

徽音堂空調設備完成披露式典を開催

本学では9月13日、^{きいんどう}徽音堂（大学講堂）の空調設備完成披露式典を開催しました。創立130周年記念事業の一環として、徽音堂の保存・改修のための寄付を呼びかけ、今年8月の時点で、6千名を超える方から合計で1億円以上が寄せられました。そこで改修第一期として、空調設備が設置されたものです。

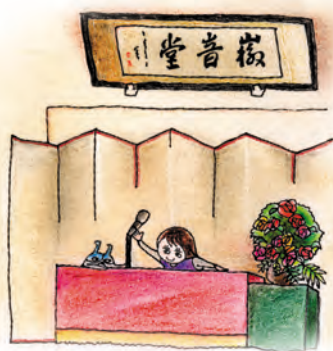
東京女子高等師範学校時代(明治41年～昭和27年)の卒業生を式典にご招待したとこ

ろ、約150名もの方々が参加されました。当日は30度を越す残暑でしたが、徽音堂内は完成したばかりの空調により快適でした。式典では、郷学長の挨拶の後、寄附の発起人である本田和子前学長、阿部知子衆議院議員、生駒俊明経営協議会委員、江澤雄一経営協議会委員の挨拶がありました。続いて、寄附に多大な協力があつた方に、名誉学友記や感謝状が贈呈されました。寄附者の方々の

氏名を刻んだ銘板も講堂前に設置され、郷学長、本田前学長、阿部議員、斎藤與志子桜蔭会会長の手で除幕されました。式典の後は、祝賀会が開催されました。

募金の目標金額は5億円で、引き続き内装などの修復保全を予定しています。一段のご支援をお願いいたします。問い合わせは総務課03-5978-5106。

(文責:編集委員会)



イラスト/緒方 泉

落葉リサイクルプロジェクトへお誘い

赤石 布美子 人間文化研究科 博士前期課程

これまで学内では、落葉は可燃ゴミとして処理され、花壇は手の入っていない所も見られました。

今秋、構内で集まった落葉を堆積して腐葉土化する取り組みを、学生ボランティアで始めました。文教育学部2号館裏で、現在は昼休みに落葉踏み、水撒き作業を行っています。春にはこの腐葉土を構内の花壇に入れ、植物を育てる予定です。

ただ今、作業に参加して下さるボランティアを募集しています。大学事務、教員、清掃業者の方々の助けも借り、始まったばかりですが、植物資源の循環に貢献したいです。プロジェクトにご賛同いただける方も増えることを願っています。

詳しい予定などは学生課まで。
(E-mail: gakusei@cc.ocha.ac.jp)



落葉踏み作業